

平成29年度 学力向上アクションプラン

尼崎市立武庫東中学校

学力学習状況調査等から見た学力向上についての課題（全国学力学習状況調査より）

- 国語AB、数学ABともに国の平均値を上回っているが、学力の2極化がみられる。
- 「家庭学習をしない、30分以下」が20%を超えている。（全国平均14.4%）

問題解決に向けた学校の取組 （基礎力の定着、家庭学習習慣の育成）

授業力向上への取組

- 校区2小学校と合同研修会の開催
小中連携の先進的な実践について小中の教員がともに学ぶ。
- 研修会等への積極的な参加
他校の授業に積極的に参加する、また、改善アドバイザーや教育総合センターの研修に学び指導力向上に努める。
- 授業観察ウィークの設定
教科をこえて授業参観しやすい環境をつくり、若手教員へのアドバイスも積極的に行う。
- 校内研修の充実

学習習慣定着に向けた取組

- 同室複数指導（3年生英語）の実施
- 朝学習の積極的な取組
ドリルコンテストの実施、朝学習の問題を定期テストに盛り込む等。
- eライブラリーの活用
- 連絡帳（計画表）の活用
宿題等に計画的に取り組めるようにする。
宿題を含む提出物等の提出期限を守ることを徹底する。
- 土曜チャレンジスクール、火曜チャレンジスクール、テスト前チャレンジスクールの実施
毎週土曜日の午前中、火曜日の放課後に数学と英語を中心に教職経験者や大学生を活用して学習支援を行う。また、定期テストに学習支援を行う。
※内容の工夫・充実
「公立入試過去問に挑戦する日」「英単語100個覚える日」「方程式に取り組む日」などを設定する。

その他の取組

- 定期テスト前の補習学習の実施
学生や地域ボランティアを活用してテスト前の学習支援を行う。
- 班学習（4人班の活用）の実施
課題の発見・解決に向けて主体的・協働的に取り組ませる。
また、アクティブ・ラーニング等の視点にたち、学習活動全般の中で学びの場を意図的に取り入れ「思考力・判断力・表現力」を育成する。
- 別室指導の取り組み方の工夫
- 武庫東中の手引き（MUKO EAST マニュアル）の活用

校種間連携

- 小中連携推進委員会の定期的な実施
- 校区2小学校と合同研修会の開催
- 出前授業、小学校に行きついであいさつ運動、クラブ体験の実施
- 入学前テストの実施
- 積極的に交流の機会を設定
オープンスクール、授業参観等に積極的に参加して小学校の様子を知る。
- 3者ふれあい事業の実施
- 異校種研修

活用する支援内容

- アクティブ・ラーニング推進事業
[アクティブ・ラーニング推進支援]
・講師を招聘し、小中の教員がともに学ぶ。
・ホワイトボード、記録用紙等を活用して班学習（4人班）を効果的に行う。
[授業補助支援]
同室複数指導を実施し、主体的・協働的な学習を推進する。（3年生英語）
- 学力定着支援事業
[放課後学習支援]
放課後学習（土曜日午前・火曜日放課後：2h×週2回×25週）、夏季休業期間（3h×10回）
- [学力定着支援]
eライブラリーなどを印刷するための、用紙やインク代、進路対策のための問題集の購入代等

家庭・地域との連携

- 図書ボランティアの活用
図書ボランティアの協力を得て、図書室利用の向上を図り読書習慣の向上につなげる。
- 積極的な情報発信
HPや学校だより活用して積極的に家庭・地域の情報を発信する。また、土曜参観授業やオープンスクールなどにより地域に開かれた学校づくりを進める。
- 武庫東中の手引き（MUKO EAST マニュアル）の活用
学校のことを知ってもらうことにより、家庭の協力・理解を得る。
- 3者ふれあい事業の実施